

東急 REI ホテルと大師河原貯留管及
び入江崎水処理センター記録

川崎の産業観光を支援する会 事務局 根岸雅明

2018.11.22

東急 REI ホテル及び大師河原貯留管及び入江崎水処理センター見学記録

【概要】川崎のいすゞ川崎工場の跡地にキングスカイフロントとして開発されているライフサイエンス・環境分野の最先端の研究機関が集約されつつあります。

その場所に 2018 年 6 月 1 日に東急 REI ホテルがオープンされました。この東急 REI ホテルのバックヤードの見学とランチバイキング及び近くにある大師河原貯留管と入江崎水処理施設を見学しました。

大師河原貯留管はこの地区の浸水対策として計画されてまもなく共用開始になります。通水前の大断面径 5 m のトンネルを見学しました。川崎市では 3 番目に大きい貯留管です。

ちなみに 1 番は渋川貯留管（内径 10.4m）、2 番目は江川貯留管（内径 8.5m）です。渋川貯留管は 2015 年 7 月 16 日に皆さんと見学をしたところです。

入江崎水処理センターは東系と西系の処理施設がありますが、老朽化した西系処理施設に最先端の高度処理技術を導入してリニューアルされた施設です。各工程の沈殿池から微生物を入れて窒素やリンなどを担体化（集めて固める）して除去して東京湾に放流します。東京湾の赤潮、青潮対策などの環境改善に尽くしています。各工程で水質がきれいになっていく過程を皆さんと学びました。入江崎水処理施設も 2014 年 11 月 29 日に皆さんと見学してこの地区の水処理について学びました。

これからも川崎のインフラについて皆さんと学んできたいと思います。

東急 REI ホテルの関係者様及び川崎市の大師河原貯留管の市の関係者様、工事の企業体の皆様、入江崎水処理施設をご説明していただいた皆様にお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

これからもよろしくお願い致します。以下はその記録です。

【日時】平成 30 年 11 月 21 日（水）10:00～16:30

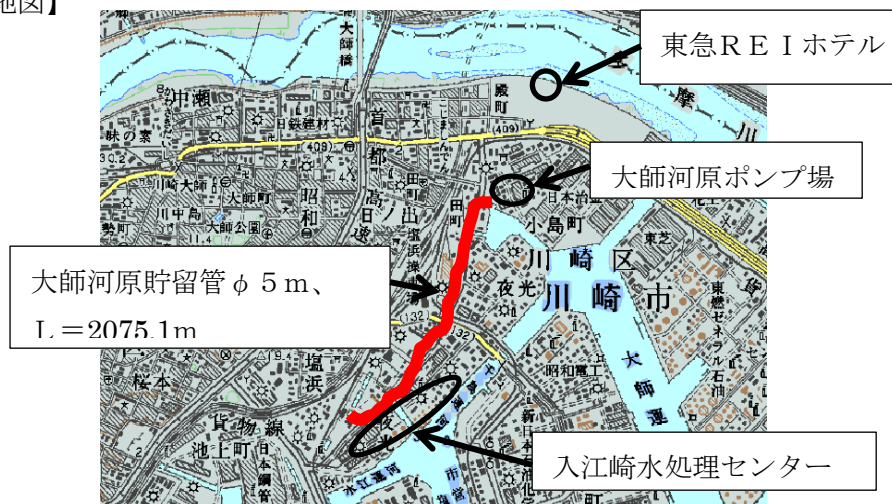
【場所】東急 REI ホテル…川崎市川崎区殿町 3-25-11

大師河原貯留管…川崎市川崎区小島町 10-1

入江崎水処理センター…川崎市川崎区塩浜 3-17-1

【参加者】28 名（男性 24 人、女性 4 人）

【地図】



【感想】 午前の東急REIホテルのバックヤードとランチバイキングは所用があり欠席しましたが、午後の大師河原貯留管と入江崎水処理施設の見学記録です。

大師河原ポンプ場で市の方々から貯留管の概要をお聞きしました。管の断面は仕上がり内径 5m、大師河原ポンプ場から入江崎水処理センターまでの延長距離 2075.1m。貯留能力は 35,600 m³。この地区には他の貯留管を入れて総 53,100 m³の能力を有しているそうです。完ぺきではないがかなりの浸水対策として効果を発揮するそうです。

工事はすでにトンネル工事は完了して、現在設備関係のポンプ設置や電気関係の工事をされています。まもなく共用開始となるとのこと。通水前の見学ではとてもラッキーだとおっしゃっていました。

大師河原のポンプ場から昇降階段を利用してとてもきれいになっているトンネル内を200mほど先まで歩きました。トンネルの断面の下部には内径 700mmの汚水管が二本敷設されておりその両脇にはこのトンネルを洗浄するための配水管（φ 350 mm）が二本敷設されており、コンクリートで覆われています。

トンネル内から地上部に上がり大師河原ポンプ場の設備などもご説明をいただきました。日頃見学できないようなところを見学できてとても有意義でした。

大師河原貯留管の見学後、塩浜のバス停まで移動しました。途中夜光町の由来の場所を見学しました。会員の原様からご説明をいただきました。この夜光の由来はららんと光っている夜の海から高僧が彫ったという弘法大師像を引き上げたという。この弘法大師を祀ったのが今の川崎大師の始まりだそうです。

入江崎水処理施設では処理施設の概要をDVDで観て、見学コースの最初沈殿池から反応タンク（嫌気タンク→無酸素タンク→好気タンク）そして最終沈殿池を経て東京湾に放流される各システムを学びました。放流部では小水力発電もされていました。

最後にご説明をいただいた市の担当者から炊事に使ったときの油はなるべくふき取ってから水洗いをして下さいとのお願いがありました。水処理施設への負荷をなるべく低減したいとのお願いです。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

今後もこのようなインフラ設備を見学し学んでいきたいと思いました。関係者の皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。

【写真】



大師河原ポンプ場にてご説明を受けてトンネル構内に入りました。



トンネル発進立坑内部の昇降階段を降りる。



内径 5m のトンネルの断面。とても明るくきれいでした。





トンネル立坑部の昇降設備



大師河原ポンプ場の4つの除塵機。ここで雨水を取り込んだ時のごみなどを取り除く機械です。



汚水の除塵機



塩浜のJXTGのバス停前に夜光の由来と川崎大師の発祥の由来が書いてあります。ご関心のある方は是非ご覧になってください。



塩浜のバス停から入江崎水処理センターまで3つほどのバス停までバスに乗りました。アクテブシニアは歩いてもよかったという声がありました。



入江崎水処理センター。西系高度処理施設での見学。入江崎処理場は昭和 36 年に稼働した神奈川県での最初の下水处理場だそうです。



最初沈殿池から汚水が浄化されていく過程を見学します。



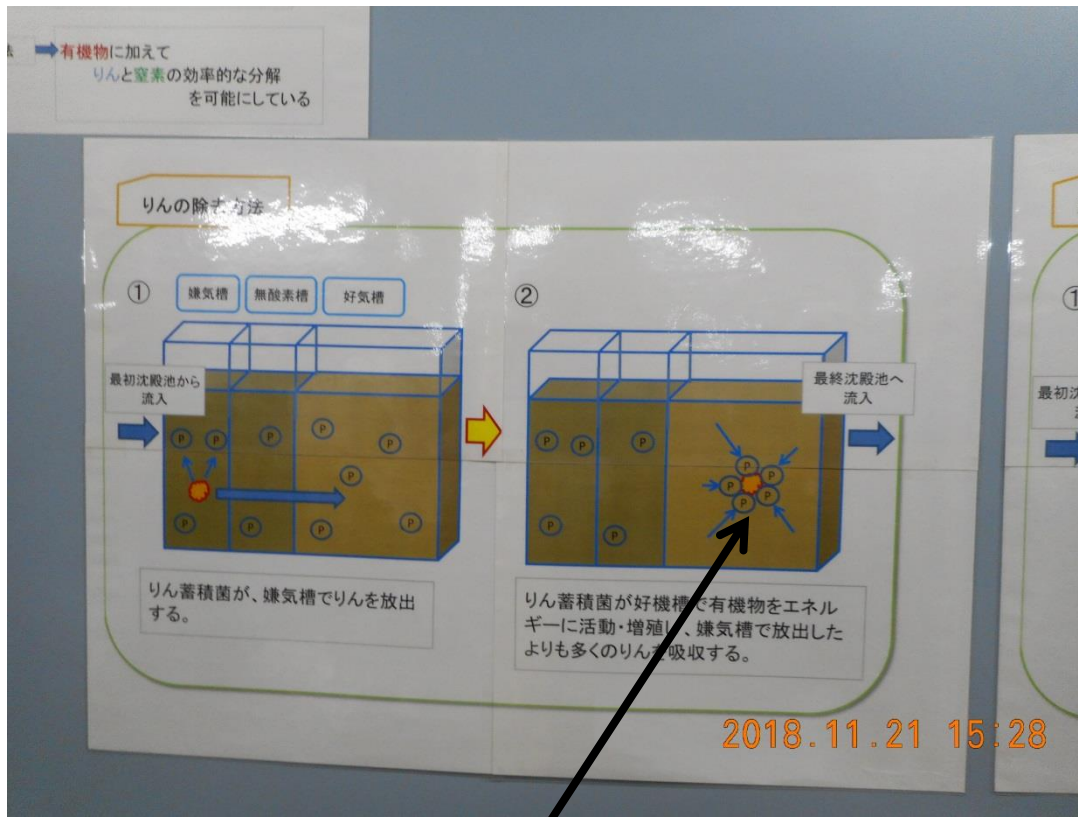
最初沈殿池の流入水



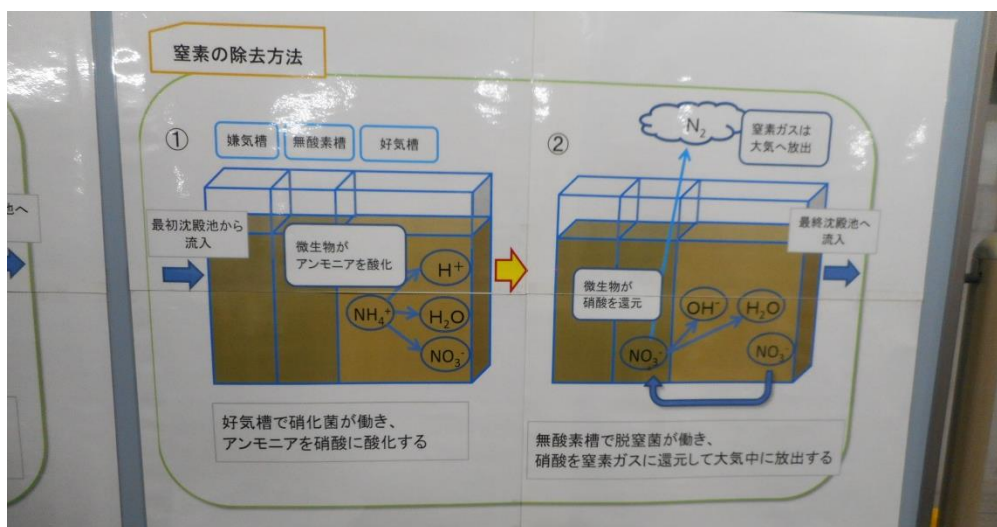
左の瓶の水が流入水の状況。右手の瓶は最初沈殿池から出ていく時の水の状況。すこしにごりが取れています。



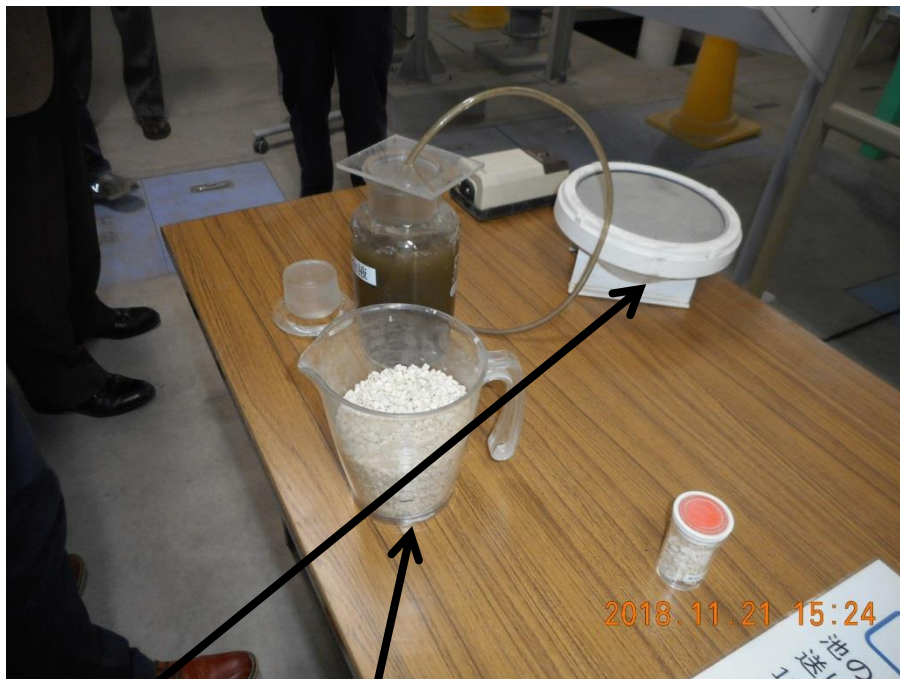
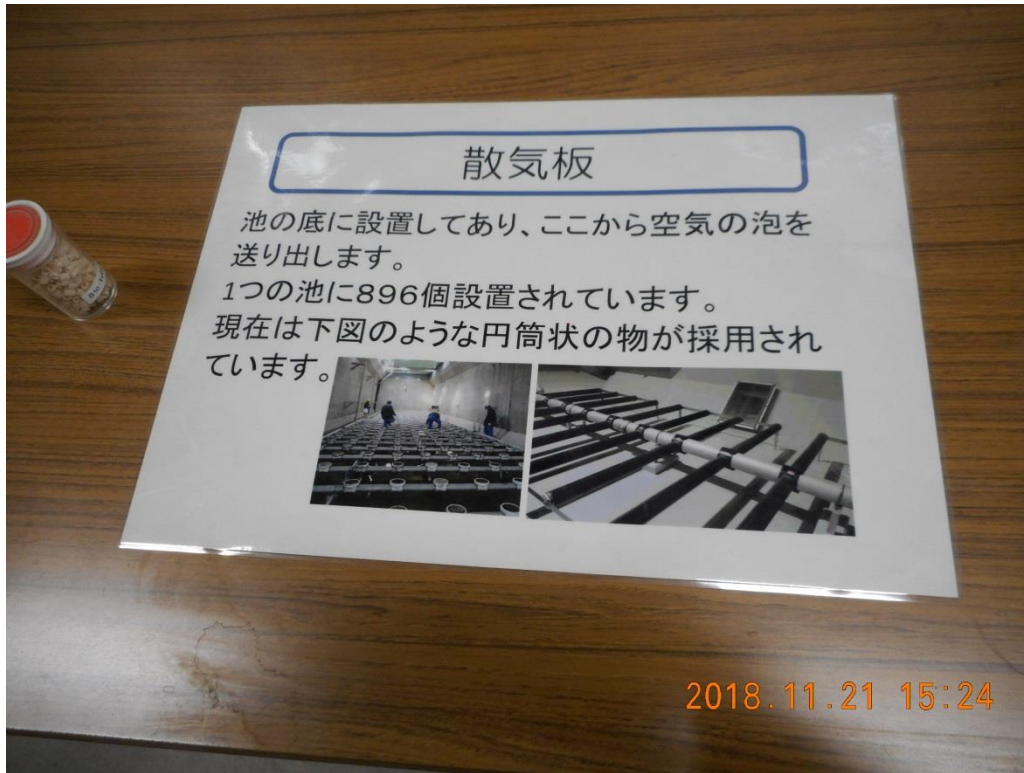
次の工程の反応タンクの見学状況



微生物を入れてリンを除去（担体化）していくシステムを学ぶ。



窒素の除去方法 微生物の働きでアンモニア (NH_4) を酸化($\text{H}^+ \text{H}_2\text{O} \text{NO}_3$)
微生物が硝酸 NO_3 を還元。窒素ガスは大気へと放出されます。



フィルターの上にポリエチレンの粒子を敷き下から空気を送り込んで微生物の活性化を促し窒素とリンの除却を促進するシステム。



最後の工程の最終沈殿池できれいになった汚水。



タービン



小水力発電設備。処理水の流れる落差 1.4mを利用して小水力発電を行っている
 そうです。発電量は年間 10 万KW。杉の木約 3,700 本が 1 年間に吸収する CO₂
 の排出を削減する。(パンフレットより)



せせらぎ水路。ここで高度処理された水は再生利用されているとのこと。
センター内のトイレの洗浄、機器の洗浄、臨海部工業団地の製紙工場などで再利用されているとのこと。

アンケートより。会員の滝澤様にまとめていただきました。

- ・企画された幹事さんありがとうございました。

昼食をはさんだ企画たいへんだったと推測します。

- ・水処理関連の仕組みの知識が得られた。

体系的に見学でき理解を深めるのに役立った。

ランチタイムをもう少し（あと15分）取って欲しい。

- ・大変参考になりました。much appreciated
- ・大師河原トンネル見学はラストチャンスということで良かった。

川崎市のあまり知られていない防災、環境保護活動もっと広報しても良いのでは。

- ・ホテルの水素エネルギーシステム
- ・下水トンネル等2度と入れない見学を企画して下さい。
- ・新しいコンセプトのホテルを知ることができた。
- ・風力、太陽光発電は当然かと思うが、処理水の流れて発電しているとは驚いた。
- ・歩く距離が長かったですが、季節的にOK、夏だったら危険かも・・・。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございます。
- ・ホテルの内装に力を入れていてとてもステキな所でした。

灯光器や家具など興味深いものでした。

- ・トンネルの見学、丁寧な説明に感謝です。

- ・ 天気が良く気持ち良かったです。

できれば、REI ホテルの遊歩道を歩きたかった。

お昼の時間がもう少し欲しかったです。

- ・ REI ホテル、大師河原貯留管の方の説明が分かり易く良かった。

- ・ 下水処理大変勉強になりました。

- ・ すべて目新しい二度と見れない SPOT で、とても印象的でした。

どの SPOT も素晴らしいガイドでした。

- ・ 水処理センターの蚊の多さに驚いた。

- ・ 本日のツアーの為に照明など JV 側（下水道局）のご配慮に感謝。

- ・ ホテルでは多摩川側の景観に満足。

- ・ 大師河原貯留管は貴重な体験をさせていただきました。

- ・ 下水処理は日々ご苦労様と思いました。

- ・ 夜光バス停からは歩いたほうが良かったのではないかな。

- ・ 下水道の一連の流れ処理状況が勉強になりました。

- ・ REI ホテルのランチバイキングがおいしかったのでまた行きたい。

正味50分くらい欲しい。

沢山ご意見やご感想ありがとうございました。